



4月13日(土)～6月30日(日)

世界一大きな授業 2019

SDG4の達成をめざす「世界同時キャンペーン」に授業をやって参加しよう!

My Education, My Rights 教育はわたしの権利

世界100か国以上の子どもたちと一緒に教育について考える授業をやりよう!

現在、世界で小学校に通えない子どもは6,400万人、読み書きができない大人は7億5,000万人も存在します。こうした事実の背景には、2015年9月に国連総会は「持続可能な開発目標」(SDGs)を採択し、2030年までにすべての子どもが質の高い就学前教育、初等教育、中等教育を受け、大人の識字率も大幅に改善することを新たな目標として掲げました。「世界一大きな授業」とは、そんな世界の現状に目を向け、教育の大切さを、同じ時期に考えようという地球規模のイベントです。今年も世界100か国以上で開催し、参加者の声を各国政府に届け、教育政策に反映するよう働きかけます。昨年、日本では583校・グループ、5万1,188人が参加しました。今年には6万人の参加を目標に開催します!

6/26
(水)
申込締切



参加は申込み→授業をやる→報告するの3ステップ

小中高校や大学、サークル、NPO/NGO、市民グループや青少年団体など、毎年、全国のようなグループが「授業」をおこなっています。学校の先生でなくても「授業をやってみたい!」という人であれば、誰でも「先生」役になることができます。参加費は無料です。

授業のためのワークショップ教材は?

参加申込みをすると、事務局より教材のダウンロードURLをE-mailでご案内します。2019年4月13日(土)～6月30日(日)のどこかで教材を使って授業を実施してください。教材には、参加型学習(アクティブラーニング)形式ですすめる9つの授業案が収録されています。対象者や時間に合わせて自由に組み合わせてください。

9つの授業案(対象:小学生～大人まで)

1. クイズ(世界の教育の現状)
2. 識字(シミュレーション)
3. 教育と資金(シミュレーション)
4. 行動する子どもたちのストーリー&動画(意見交換)
5. ちがいのちがいのSDG4バージョン(カード)
6. 日本の教育問題とSDGs(意見交換)
7. 本当に必要な「教育援助」とは?(ロールプレイ)
8. 日本の教育ODAの推移を読み解こう(データ読解)
9. 首相・外務大臣に手紙を書こう(意見交換+文章表現)



ワークシートやスライド資料があるので、すぐに授業ができます

申込方法は裏面へ→

授業だけじゃない! 政策提言に直結したキャンペーン!

キャンペーンに参加する世界中のNGOや団体と共に国際社会に働きかけます。首相・外務大臣に手紙を書くと、JNNEが日本政府に届けます。



敦賀高校3年5組(福井県)

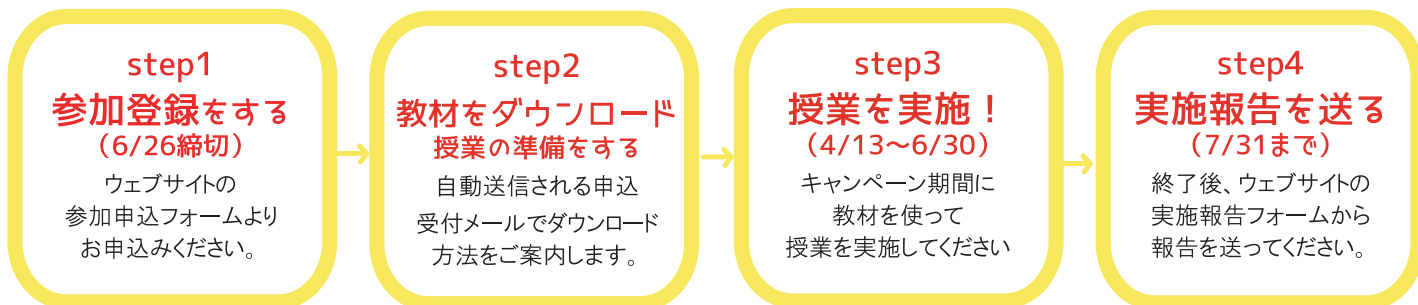


小牧市立村中小学校(愛知県)



中高生による「国会議員のための世界一大きな授業」

「世界一大きな授業2019」参加方法 授業実施期間：4/13（土）～6/30（日）



報告書をお届けします

8月下旬に事務局から、お申込み1件につき
1枚報告書を郵送でお送りします。
ぜひ、教室などに掲示してください。

写真を撮って報告しよう
左：大阪産業大学
右：ガールスカウト奈良県西地区



参加申込

ウェブサイトのフォームよりお申込みください

<http://www.jnne.org/gce/>



世界一大きな授業

検索

ご寄付をお願いします

教材の作成、キャンペーンの運営には、年間およそ100万円の
資金が必要です。皆さまのご寄付でのご協力をお願いします。
寄付金は1口1,000円より募集しています。

【みずほ銀行】新宿西口支店 普通4839927

教育協力NGOネットワーク

【ゆうちょ銀行】記号10110(店番018)

番号43575271(普通預金4357527)

教育協力NGOネットワーク

※領収書は銀行の振込票をもって代えさせていただきます。活動・会計報告は9月末に「世界一大きな授業」ウェブサイト掲載します。

参加した「生徒」たちの声 (2018年)

- 戦争の道具にお金を使うのではなく、人を助けるために使ってほしい。(北海道・恵庭市立柏小学校)
 - 教育に必要なお金を紙テープで比べてみて、軍事費のお金がすぎて、驚きました。なぜこんなことになっているのか不思議に思いました。(ガールスカウト青森県第9団)
 - 私が政府にお願いしたいのは、学校や教師を増やすために予算を使うことです。(福島県立郡山高等学校)
 - 今の世界では先生の少なさや子供たちの勉強の習熟度の低さが目立っているため、これから先生を増やしたりするために国際社会で協力することが大切だと思いました。(栃木県文星芸術大学附属中学校)
 - 援助のお金は経済分野に多く配分されている。もっと教育への配分を増やすべきだし、日本のGPE基金はとても少ないので増額すべき。(岐阜県立各務原高等学校)
 - 教育にかかるお金を増やしてほしいです。国が豊かになるには人が豊かになることが大切です。そのためには知識が必要です。日本にいる在日の方や海を渡って知り合うことのない子ども達にも豊かになる権利があります。(愛知淑徳大学小島ゼミ)
- <感想をもっと読む→<http://www.jnne.org/gce2018/impression.html>>

「世界一大きな授業」2019

主催：教育協力NGOネットワーク (JNNE) <途上国で教育協力を行うNGO20団体のネットワーク>

共催：フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

協力：地球対話ラボ

後援：文部科学省、外務省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、日本ユネスコ国内委員会、ユネスコ・アジア文化センター、ESD活動支援センター、SDGs市民社会ネットワーク、国際協力機構、国際連合広報センター、ガールスカウト日本連盟、児童労働ネットワーク ※申請中を含む

実施団体：「世界一大きな授業」は次の団体が実施しています

開発教育協会、ガールスカウト日本連盟、Global Citizen、日本YMCA同盟、プラン・インターナショナル・ジャパン、フリー・ザ・チルドレン・ジャパン、ラオスのこども



お問合せ・お申込み

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山6-6-5-3F

フリー・ザ・チルドレン・ジャパン内「世界一大きな授業」事務局

E-mail: gce.japan.campaign@gmail.com URL: <http://www.jnne.org/gce/> Facebook: <http://www.facebook.com/jnne.gce>

